

# 震災復興 4年目に突入

# 積極予算

## 復旧・復興

**駅前交流センター施設**の構想は

**問** (仮称)交流センター施設の具体的な内容は。

**復興推進課** 駅前の商業拠点エリアの魅力付けが図られる施設で、1階はピロティとして朝市等で活用、2階は会議室や商店街の販売活動等ができるスペース、3階は展望室とする予定である。

**水道本管から自宅への給水管に関する補助は**

**問** 住宅を自力で再建する場合、水道本管から自宅までの給水管の距離により補助してはどうか。

**復興推進課** 土地を購入して新築した場合は加算支援金等に追加して100万円、所有地に新築した場合は50万円を補助している。

**上下水道課** 企業会計の中で経営面を考えると、さらなる補助は難しい。

**駅前共同店舗の借地料**は

**問** 商工会から駅前共同店舗の借地料を10年間無料にしてほしいと陳情が出ているが、やっていけないのか。

**佐藤副町長** 土地造成後に不動産評価が出てから金額が正式に決まるが、テナントは借地料を支払っても経営が成り立つと判断している。支払っていたら。

**問** 保証金を分割とするようだが、事例はあるか。

**用地課** 契約で定めれば可能である。再建する事業者の足かせとならないよう最長10年間の分割とした。

**災害公営住宅への入居希望数は**

**問** 災害公営住宅入居、自力再建希望世帯数をどう把握しているか。

**復興推進課** 現時点では個別面談の結果で災害公営住宅への入居希望が777戸、漁業集落防災機能強化事業(大沢・大浦)

143戸、防災集団移転事業434戸、都市再生区画整理事業661戸で、計2015戸である。

## 暮らし

**特定不妊治療の補助内容**は

**問** 特定不妊治療補助金の人数見込みと内容は。今までの実績人数は。

**健康福祉課** 体外受精等の治療に対しての補助で、治療1回につき上限15万円の県補助金に上乗せし、最高6回まで補助する。27年度は10件程度を見込んだ。23、24年度は4人、25年度は5人、26年度は2人である。

**細浦柳沢線と既存道路との接続は**

**問** 細浦柳沢線の関口方面への取り付け道路をどう考えているか。

**復興推進課** 柳沢側はトンネルに入る前で関谷方面からの町道と接続し、長崎方面にもつながる。

**税額が増となった理由**は

**問** 町民税や固定資産税の増額計上の内容は。

**税務課** 町民税は所得割額が増えるため。固定資産税は家屋の伸びを11・3%程度と見込んだ。

**特養施設入所希望状況と実態は**

**問** 介護保険料収入が26・1%増となった要因は。

特別養護老人ホームへの長期入所希望者は、希望どおり入所できているか。  
**国保介護課** 第6期の保険料引き上げにより収入が増える。

特養待機者は26年3月時点で80人、在宅での入所希望者は24人いたが、1年以内での入所希望者は5人だった。施設が充実した現在是对応できていると考える。

## NPO問題

**弁護士委託料、どう決めているか**

**問** 委託金返還等請求事件に係る弁護士委託料の成功報酬額の決め方は。

**総務課** 契約上は回収金額の10%としているが、弁護士とまだ相談していない。

**住民報告会を開催すべきでは**

**問** NPO問題の住民報告会をするべきでは。

**総務課** 民事裁判はまだ審理に入っていない。また、第三者委員会の報告以降明らかになった事項は無い。真相が明らかになれば何らかの形での報告は必要と考える。

**甲斐谷副町長** 住民報告会とするか広報等による経緯の報告とするか内部でまだ検討していない。